

# 窓

京都新聞 令和2年(2020年)7月1日(水)

## 匿名での誹謗中傷 最低だ

宇治市・大島 優生(大学生・20)

女子プロレスラーの木村花さんが会員制交流サイト(SNS)で匿名の発信者から中傷を受けた後に死亡する問題が起き、政府・与党が対策の強化を急いでいる。

現行制度では、まずSNS運営者らに「IPアドレス」の開示を求め、その情報を基に、携帯電話会社などに對して別途訴訟を起こし、人物を特定する必要が

NS上での誹謗中傷と知り、とても悲しくなった。芸能人やスポーツ選手も、私たちと同じ人間であり、傷つかないわけがない。

ある。被害者側が法的手段に訴えようとしても負担が大きいが課題だ。総務省の有識者会議では、SNS運営者らに開示を求める情報の対象に、新たに携帯電話などの番号を追加する方向でおおむね一致した。私は、木村さんが出演していたテレビ番組を見ていたので、訃報を聞きとても驚いた。その後、原因がSNS上で書き込むなんて最低だと思う。「匿名だから何を言ってもいい。何でもしなさい」と思っているのなら、自分がされてどうか、一度考えてほしい。

※無断転載不可